

産業振興

◆生産基盤の整備

農地等の冠水被害防止のため、清水地区の排水機場整備について、現在、5月に県営事業として採択されるよう手続きを進め、9月から調査・測量業務に着手する予定です。今後も、関係機関と連携を図りながら事業の推進に努めます。

◆農業経営の改善

米の生産に関して、主食用米から飼料用米への転換など、農家の協力により平成30年産米から生産目安が達成されています。しかしながら、令和3年は米価の下落が懸念されているため、過剰生産等による下落が生じないように、引き続き飼料用米の作付けを支援することで米価の安定を図ります。



◆森林環境の整備

森林の現況把握とともに、整備の指標となるゾーニングを明確にし、適切な保育・管理を行うための「森林環境整備基本計画」を策定します。

◆有害鳥獣駆除

イノシシの生息域が拡大している状況の中、捕獲従事者の負担軽減およびジビエを推進するため、民間獣肉加工施設とさらなる連携を図ります。

◆中小企業者等への支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内小規模事業者に対して、事業の再開・継続のために国の補助を受けた場合に、市からも補助を行い支援します。

◆観光振興

本市最大のイベントである「茂原七夕まつり」の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮し、安全で安心して、そして盛大に開催できるよう関係機関と連携を図り準備を進めたいと考えています。

市民自治

◆市民活動の促進

自治会の重要な活動拠点である集会所の修繕等に対する補助の充実を図るとともに、感染症予防と市民活動の両立に役立つコミュニティ備品の貸し出しを行うなど一層の支援に努めます。

◆男女共同参画の推進

令和3年度から7年度までを計画期間とする「第4次茂原市男女共同参画計画」に基づき、「性別にかかわらず誰もがその個性と能力を發揮することができる男女共同参画社会」の実現に取り組みます。

◆行財政改革の推進

令和2年度導入のAIを用いた会議録作成支援システムを活用するなど、業務負担の軽減と、事務の効率化を図ります。

◆シティプロモーションの推進

官民一体となって支援するロケーション撮影の誘致において、令和2年度の成果が高く評価され、ロケツーリズム協議会に参加する全国27自治体等の中から、最高の賞であるロケツーリズムアワード「地域大賞」を受賞しました。今後も、ロケを受け入れた作品のパネル展などさまざまな事業を展開し、本市の認知度向上に努めます。



▲表彰式の様子